

日特エンジン

中国・蘇州工場を拡張

巻線機の生産能力増強

【さいたま】日特エン

ジニアリング(さいたま

市南区、近藤進茂社長、

048・838・212

2)は、中国の巻線機生

産拠点、蘇州工場(蘇州

市)を移転、拡張する。

2月に着工し、6月に完

成の予定。中国の現地企

業を中心にニーズが拡大

していることに対応する

もので、巻線機などの生

産能力を引き上げる。総

投資額は約8000万

円。

蘇州工場は蘇州市内で

移転する。新工場の敷地

面積は既存の2600平

方から4200平方

に広がる。延べ床面積は

2700平方

00平方

転は再開発によるもの

が、これを機に、手狭に

なっていた工場スペース

を拡大、生産能力を増強

する。「3-5年後には

売上高30億円を目指す」

(近藤社長)。

中国では、コイルの巻

き取り作業が手巻きから

機械に移行する動きが拡

大。巻線機のニーズが増

えているほか、より精度

の高い巻線機への切り替

えニーズも高まっている。

同社は福島工場(福島

県飯野町)の生産ライン

を蘇州に移して対応し、

福島工場は、高性能機種

の開発や製造を手がけ

る。